

人口減少・少子高齢化が進む中、このまま市街地や居住地域が拡大し、人口密度が低下すると「生活の利便性の低下」や「空き地・空き家の増加」などによりまちの魅力が低下し、更に人口減少が進む可能性があります。

このため、持続可能なまちを目指して立地適正化計画に基づく居住誘導区域等への移住・定住の促進、幹線道路や公営住宅等の都市基盤整備、地域公共交通網の再編など多極ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けて取り組んでいきます。

コンパクトシティの実現



このほか、令和5年度は「燃ゆる感動がこしま国体・かごしま大会」が開催され、本市は5種目の競技会場となっております。全国各地から訪れる選手やスタッフ、応援に來られる方々を市民総参加でもてなし、地域の魅力を全国に発信できるように準備を進めていきます。

引き続き社会経済情勢や国・県等の動向を十分に注視しながら、第2次総合計画をはじめ各種計画等を着実に推進し「もっと元気な、もっと豊かな、もっと住みやすい未来へ大きく羽ばたくまち!! かのや」の実現に向けて取り組んでまいります。

脱炭素社会・デジタル社会の実現

「ゼロカーボンシティかのや」の実現に向けて、「地球温暖化対策実行計画」の策定や再生可能エネルギーの有効活用、住宅の高断熱化等による省エネ対策の推進、持続可能な森林経営による二酸化炭素吸収源対策などに官民一体となって取り組んでいきます。

また、デジタル技術を通じて地域の課題解決を図るため、GIGA スクールの推進など様々な分野におけるデジタル基盤の整備、メタバースの利活用の検討等による都市部の関係人口の拡大、デジタル人材の育成・確保などに取り組んでまいります。



人口減少対策 ビジョンの実現

人口減少は地域の活力の低下や産業の縮小などを招く要因となります。そこで、人口減少を抑制するとともに人口減少社会においても地域の生活機能を維持

することを目的とした「鹿屋市人口減少対策ビジョン」を策定しました。

本ビジョンに基づいて、人口の社会減・自然減対策、持続可能な地域づくりなどの観点から、雇用、子育て、地域課題解決等の施策を充実・強化し、誰もが将来の夢に向かって躍動する明るいまちづくりを推進します。



農業産出額1割アップの500億円を目標に掲げ、多様な担い手の確保、高収益作物の導入、農地の集積・集約・大区画化、地域6次産業化による高付加価値化、農産物や加工品等の輸出促進などに取り組み、稼ぐ力を高めてまいります。

また、農業・農村の持つ魅力や癒し、楽しさ、さらには自然環境の保全、水源かん養など多面的な機能を多くの方々に感じていただき、本市の農業の魅力を最大限に発揮できるよう取り組めます。

第2次かのや農業・農村戦略 ビジョン等の実現



施政方針

SHISEI HOSHIN

4つの重点施策

今号では、2月22日開会の令和5年3月鹿屋市議会定例会で中西市長が述べた市政運営の基本方針となる施政方針の概要と、3月22日に議決された令和5年度当初予算について紹介します。

今年3月に「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「かのや農業・農村戦略ビジョン」など将来に向けた計画を策定し、今後、その実現を目指して取り組んでまいります。また、脱炭素社会、デジタル化の進展は今後更に加速していきます。それらの対応を喫緊の課題として捉え、住民サービスの向上を図る必要があります。

このようなことを踏まえ、令和5年度においては、次の4つについて重点的に取り組んでまいります。



鹿屋市長
中西 茂